

エリトリア 自立支援

コンピューター訓練コースを新設します

松木 傑 事務局

エリトリアは、30年に及ぶ内戦のち1993年5月にエチオピアから独立したアフリカで一番新しい国です。

昨年、偶然のことからエリトリア大使からベテロス・アブラハさんを紹介され、彼からの提案に応えるために、8月にエリトリアを訪問し準備にあたりました。5日間という短い滞在でしたが、外務省、難民委員会、教育省、今後協力していくことになった教育省の技術成人教育部の方々にお会いしました。

独立後、自立を求めて人々は立ち上がっていますが、内戦の後遺症は厳しく、職業訓練校は、1950年代の機械を今だに使用している状態です。来年9月の新学期に開設を計画していますアスマラの南東のデカメレには約1000名の青年たちが、内戦で母親や両親を失い寮生活をしています。初歩的なものでもコンピューターを扱えることは、彼等に就職の機会を生るることになります。エリトリアには大学は一枚しかなく、高校を卒業しても行き場がない青年たちが多いです。

エリトリアの第一印象は、石が多いこと、石ころの中で麦が芽を出していました。また、紅海のマサワの蒸し暑さも大変なものでした。

この様に、社会的にも、自然環境でも厳しい国ですが、ナイロビ、アジスアベバにない落ち着きと将来への希望を人々のなかに感じました。



面積：12万1270平方Km

首都：アスマラ

人口：350万人（1994年推計）

人種：ティグレ、アファール族など9部族

宗教：キリスト教、イスラム教

言語：ティグレ語、アラビア語、諸民族語

識字率：20%

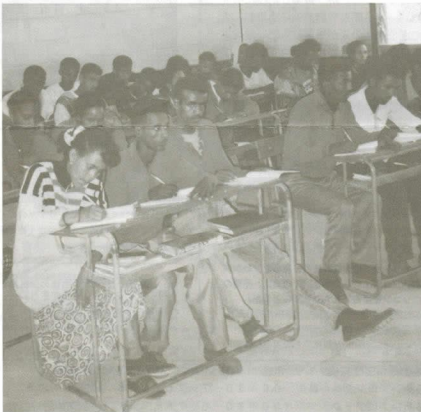
一人当りGNP：150ドル（1994年推計）



アスマラのルーテル教会
隣の空き地に運動活動のための車やコンテナがある



職業訓練を受ける 機械のコース
コンピューター開設予定の部屋 以前は兵舎



デカメレ 孤児の生徒たち 職業訓練校が併設されている

わかちあいプロジェクト募金

●カクマ難民救援

●カンボジア自立支援

●エリトリア職業訓練校支援

●カクマキャンプに、4回目の派遣を行い病院関係の建築と職業訓練の備品購入の支援を行う予定です。また、古着の支援は第5回目になりますが、今年と同じくタンザニアに段ボール箱1000個を目標に集めます。時期は6月

●カンボジアでの牛の支給は、今年も継続します。交流のプログラムも予定しています。

●エリトリアは新しいプロジェクトです。エリトリア政府との約束でもあり、ぜひ、コンピューター40台の教室を開きたいと思っています。ご協力のほうよろしくお願ひいたします。1977年の古着やワークキャンプについては、来年の4月号でお知らせいたします。会計報告は、4月にいたします。

国際協力フェスティバルに参加しました！

10月5、6日、日比谷公園にて催されたこのフェスティバルに初めて参加した私は、日本にこんなにもたくさんのNGO団体があつたのかと驚くほどでした。会場には所狭しとテントが並び、支援している国の魅力的な姿や、国際協力必要性を理解してもらうために、ゲームや劇などかわかりやすく説明する場を作っていました。一つのテントの半分が、NGO団体の割り当てられたスペースで、私たち、

「わかちあいプロジェクト」はトランプフェアのコーヒー、紅茶、カクマキャンプの難民の人たちが作った民芸品の販売と難民キャンプでの活動や写真の展示をしました。（ちなみに今回はアジア学院でした）私は、「わかちあい」のテントで立ち止まって下さった方とお話できることが一番楽しかったですね。2日間ともお天気に恵まれ、さまざまな国の人が集まりすごい混雑ぶりでしたが、会場にいる誰もがいい笑顔でした。また来年が楽しみです。皆さんもぜひ一度遊びにいらしてみ下さい。（小沼さつき）

お知らせ

○わかちあい・オンライン！

わかちあいプロジェクトへの電子メールの宛先と、ホームページのお知らせです。

電子メール：QWA013157@mail.tysonserv.jp

Homepage：http://www.big.or.jp/~wakatia/

ただし、ホームページのほうは「脱意建設中」で、まだまだ実験段階です。ホームページの編集のボランティアを募集しています。

○わかちあいプロジェクト例会

8月を除く毎月3火曜日、午後7時より例会を開いています。また、毎週火曜日は、事務局の打ち合わせをしています。

○カクマ難民キャンプ/ワークキャンプ報告

ご希望の方は送料と印刷費500円をそえて事務局へ申出ください。

○カンボジア長期ボランティア（1年）募集

●エリトリア長期ボランティア（1年）募集
関心のある方、事務局までご連絡ください。

○エリトリアの職業訓練校のために、わかちあいプロジェクトの事務局のために、不運のパソコンをご寄付願ひ下さい。

エリトリアのためにIBM互換機0486Dx2、66程度のもの、また事務局のためにはMacintoshの68030-25程度のものであれば幸いです。

1997年の募金目的と目標

- カクマ難民救援 300万円
- 病院関係の建設費と備品費
- ワークキャンプ経費
- 古着などのコンテナ費用
- カンボジア自立支援 300万円
- 牛の支給プロジェクト
- 「村の銀行」の資金として
- エリトリア職業訓練校支援 300万円

募金目標額 900万円

募金の送金先

郵便振替口座
わかちあいプロジェクト募金
00130-7-762258



10月6日 テント前にて

です。詳細は事務局へお尋ねください。
●ミニショップ、バザーなどにコーヒー、紅茶はいかがでしょうか。教会や市民グループの活動資金づくりや、チャリティのためにも、活用していただけるとうれしく存じます。ご相談は事務局まで。

LWF/LWS（ルーテル世界連盟、世界奉仕団）の協賛。第二次大戦後の連日間に新教人権にかかわらず人権援助を目的に、世界人権基金のキリスト教基金により設立された国際的援助団体（NGO）です。現在、世界中75カ国に現地事務局をもち、現地組織とも協力して援助活動を行っています。

発行所 わかちあいプロジェクト 130 東京都墨田区江東橋5-3-1 電話：03-3634-7809 FAX: 03-3634-7808
編集者 松木 傑 郵便振替口座：わかちあいプロジェクト募金 00130-7-762258 (募金用)
わかちあいプロジェクト 00180-6-758331 (代金支払用)